

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



山崎 賢人

(長崎/111期)

去年はあっせんが止まって走れず、2年前は準決で井上(昌己)さんと連係したけど失敗して決勝に乗れなかった。競輪祭の3走目に初めて井上さんを振り切れて自信になった。セッティングを微調整して今年こそ決勝で井上さんとワンツーを決めたい。

瀬戸 晋作

(長崎/107期)

弟(栄作)とはA級ではあるけど、S級で一緒に初めて。師匠(佐藤幸治)とも連係がないので、一緒ならしっかりいい走りがしたい。点数を吐き出してすっきりしたし、攻める方が自分に合ってる。地元は多いし、僕も行けるところまで頑張りたい。



谷口 遼平(三重/103期)

今期は記念開催に4場所参戦。決勝には乗っていないものの、初日、2日目の予選では素晴らしい成績を残していて、4勝、2着3回、3着1回。準決も最終バックを4場所すべて取っている。そろそろ準決でも一発あるか。



山田 諒(岐阜/113期)

10月富山2①①着では3日間逃げてF1戦初Vを決めると、11月四日市記念の二次予選2着は落ち着いた運行で3番手キープからまくって浅井康と中部ワンツーを決めた。記念開催では壁の準決を乗り越えられるか。



岩谷 拓磨(福岡/115期)

11月武雄MNで9連勝を達成してS級の仲間入りを果たした。自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがあり、S級初戦の11月高松では1②⑦着と優参。今シリーズは初の記念参戦。どこまでやれるか注目したい。

RAINBOW CUP FINAL

12/20(最終日) 9R

それぞれ地区単騎だが、隅田洋介、金野俊秋、加藤寛治、瓜生崇智も黙っていない。加藤はコロナ禍で休止期間中に練習に打ち込んだ成果が出て、6月大垣MN以降は5連覇を含む8V。まぐりの破壊力は強烈だ。首のヘルニアを克服した瓜生も持ち前のスピードを生かした走りで上位進出を目指す。後手を踏まなければ面白い。一方、金野は落車の影響が心配。隅田もぶっつけ本番となる上に、頼みの金子幸が特進で不在になったのは痛い。

3着以内に入ればS級に特進できる期末恒例のシリーズ。来期もA級で勝負駆けなのは橋本智昭、佐藤一伸、三浦雄大。8月以降欠場が続く隅田洋介も今期の競走本数不足をカバーするにはここか、今年最終戦の12月西武園MNで特進を決めるしかない状況だ。全員でまとまることはないが、駒数豊富な北勢が優位に立っており、宮城トリオ中心のV争いになるとみた。本命に推す橋本はA級ではレベルの違う先行力の持ち主で、今期はここまで確定板を一回も外していない安定感は驚異的。同地区の若手には前を任せるレースも見られるようになってきたが、先行基本の組み立てに迷いはない。Vラッシュの竹山陵太の援護は頼もしいし、三浦の追加参戦でラインもより厚みを増した。タイミングを逃さず仕掛けて結果を出す。同じ北日本で佐藤一、佐藤佑一も見逃せない。特に自在に何でもこなせる佐藤一からは一発ムードが漂う。S級復帰へ、隙の無い組み立てから鋭脚を伸ばそう。

率いる宮城勢

橋本智昭



橋本 智昭